



小型気密測定器「Dolphin2」

コンパクトに改良、現場で手軽に測定

ヤマイチ

高性能住宅でより良い住環境を

けて販売している。

気密測定は、住宅全体の隙間(気密性能C値/相当隙間面積)を測り、C値を測ることで1㎡あたりの隙間面積を算出する。気密性能を高めると隙間から空気の出入りがなくなり、室温を保つことが容易となる。しかし、断熱性能が高い住宅でも気密性能が低いと、隙間から空気が漏れて熱が移動し、室内の温度を一定に保つことが難しい。極端に気密性能が高すぎても、換気が不十分になり、結露・カビなどが発生する恐れが高くなる。

パクト化。システム構成品の90%以上を見直して最適化し、送風機・測定器の両システムは、従来比30%の軽量化を図った。また、従来の測定器は脚立に置いて使用するものだったが、ビニールダクトと本体の機械を繋げることで床に置いたまま測定が可能になり、作業性と安全性を高めた。JISおよび建築環境・省エネルギー機構(IBE C)試験方法マニュアルに準拠し、測定結果はエクセル形式でそのまま報告書として使用することができる。

建材商社のヤマイチ(富山県野口、廣瀬貴志社長)は、手軽に持ち運びができる小型気密測定器「Dolphin2」を製造元のEOMと共同で研究開発し、全国に向

こうした気密性を計測するために研究開発されたDolphin2は、従来全長1400mmあったものを800mmにコンパクト化。システム構成品の90%以上を見直して最適化し、送風機・測定器の両システムは、従来比30%の軽量化を図った。また、従来の測定器は脚立に置いて使用するものだったが、ビニールダクトと本体の機械を繋げることで床に置いたまま測定が可能になり、作業性と安全性を高めた。JISおよび建築環境・省エネルギー機構(IBE C)試験方法マニュアルに準拠し、測定結果はエクセル形式でそのまま報告書として使用することができる。

環境の更なる向上を目指したい」と意気込みをみせる。問い合わせは、ヤマイチの平林氏(☎076-436-0231)までお願いします。



小型気密測定器「Dolphin2」



<http://h1s.jp/drdolphin/>



<http://www.sungeom.jp/>

●共同開発 ヤマイチ株式会社+EOM株式会社

●販売元 ヤマイチ株式会社
(総合窓口) Dolphin担当: 平林 [TEL] 076-436-0231(代)
〒930-0173富山県富山市野口812

●製造元 EOM株式会社
(技術) Dolphin担当: 駒野 [TEL] 090-2939-7725
[E-mail] dolphin.eom@outlook.jp
〒431-3105静岡県浜松市東区笠井新田町1196